科目名	国際発達ケア特論 Theory on Global Care for Development
科目番号	01EA229
授業形態	講義·演習
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	春AB学期 受講生との協議により定める
実施場所	共同利用棟B103
単位数	2単位
<u>丰世级</u> 担当教員名	2年位 安梅勅江 Tokie Anme
担当教員石 ティーチングフェロー(TF)・	女情初た TOKIE AIIIIIE なし
	TA配置あり(2人)
ティーチングアシスタント(TA) オフィスアワー等	
オフィストリー寺	4B棟508
	オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問する
	こと。
	anmet@md.stukuba.ac.jp
授業の到達目標	(1)自らの研究の目的、方法、結果とその意義、今後行うべき研究
(学習成果)	について発表できる。口
	(2)自らの研究の、当該領域の世界の研究における位置と独創性
	について説明できる。口
	(3)自らの発表内容に対する質問とコメントを理解し、討論の内容
	を以後の研究の質の向上に反映できる。口
	(4)他の学生の発表内容を理解し、その意義と欠点を理解し、そ
	の向上のためになる質問や討論をする。口
	(5)保健医療福祉に関する法律と研究方法を理解し、適切な実践
	研究を企画・申請・実施できる。 口
	(6)研究に関する規則と倫理学的問題点を踏まえ、適切な実践研
	究を企画・申請・実施できる。 🗆
	(7)世界の様々な地域で生活している人々の健康実態を理解し、
	ケアに必要な理論と技術について説明できる。口
他の授業科目との関連	国際看護学 国際発達ケア演習
履修条件	
授業概要	国際的な視野を持ち、世界のさまざまな地域で生活する人びとへ
	の発達ケアに必要な理論や技術について、公衆衛生学や保健医
	療に関する最新の研究成果の発表を題材とし、研究内容に関す
	る講義と討論を行う。
キーワード	国際 生涯発達 ケア
授業計画	1国際発達ケア特論のねらいとすすめ方口
	2エンパワメントに基づくケアの対象と方法口
	3エンパワメントに関する量的研究法口
	4エンパワメントに関する質的研究法口
	5エンパワメント実践技術(1)口
	6エンパワメント実践技術(2)口
	7国際発達ケアの最新動向とヘルスプロモーションロ
	8国際発達ケア理論ロ
	9ヘルスケアシステムロ
	10国際発達ケアの事例紹介(1) ロ
	10国際光達ケアの事例紹介(1)ロ
	12国際発達ケアの事例紹介(3)ロ
Ī	13国際発達ケアの事例紹介(4)ロ
	14国際発達ケアの事例紹介(5)口
	15国際発達ケアの事例紹介(6)ロ
	15国際発達ケアの事例紹介(6)ロ 16国際発達ケアの事例紹介(7)ロ
	15国際発達ケアの事例紹介(6)ロ 16国際発達ケアの事例紹介(7)ロ 17国際発達ケアの事例紹介(8)ロ
	15国際発達ケアの事例紹介(6)ロ 16国際発達ケアの事例紹介(7)ロ
	15国際発達ケアの事例紹介(6)ロ 16国際発達ケアの事例紹介(7)ロ 17国際発達ケアの事例紹介(8)ロ
	15国際発達ケアの事例紹介(6)ロ 16国際発達ケアの事例紹介(7)ロ 17国際発達ケアの事例紹介(8)ロ 18疫学研究デザインロ
	15国際発達ケアの事例紹介(6)ロ 16国際発達ケアの事例紹介(7)ロ 17国際発達ケアの事例紹介(8)ロ 18疫学研究デザインロ 19研究プロトコール作成(1)ロ

学修時間の割り当て及び授業 特定した教科書の「いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学」を事前に読んでおくこと。 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習は必ず行うこと。また、宿題を課す。 レポート課題:国際発達ケア研究の計画 評価項目 (1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている C:背景と設定が説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開 C:論旨の展開をある ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれの以上を満たすことで合格とする ・それぞれの以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はひとする、など いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路 書房、2016年 その他(受講生にのぞむことや 授業中の活発な参加を期待する。	当板は明の割川ツァルが極業	
指定した教科書の「いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学」を事前に読んでおくこと。 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習は必ず行うこと。また、宿題を課す。 レポート課題:国際発達ケア研究の計画 評価項目 (1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする・それぞれの以上を満たすことで合格とする・それぞれの以上を満たすことで合格とする・それぞれの以上を満たすことで合格とする・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など		再我(30%)と演首(30%)を1井用する。
を事前に読んでおくこと。 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習は必ず行うこと。また、宿題を課す。 成績評価方法 レポート課題: 国際発達ケア研究の計画 評価項目 (1)問題の設定 A~A+: 背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B: 背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C: 背景と設定が説明されている D: 背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B: 明確な結論を導いている C:論盲の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする・それぞれに以上を満たすことで合格とする・たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 しいのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年	外における字修万法	
授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。復習は必ず行うこと。また、宿題を課す。 レポート課題:国際発達ケア研究の計画 評価項目 (1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開をある C:論旨の展開をある C:論旨は理解できるしべルにある D:論旨が不明確である C:論旨は理解できるしべルにある D:結論は連解できるしている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする・それぞれの以上を満たすことで合格とする・たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 レのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習は必ず行うこと。また、宿題を課す。 レポート課題:国際発達ケア研究の計画 評価項目 (1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれて以上を満たすことで合格とする・それぞれて以上を満たすことで合格とする、も最低の評価(評点)を最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		を事前に読んでおくこと。
次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習は必ず行うこと。また、宿題を課す。 レポート課題:国際発達ケア研究の計画 評価項目 (1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする・それぞれに以上を満たすことで合格とする・それぞれに以上を満たすことで合格とする・それぞれに以上を満たすことで合格とする・最低の評価(評点)を最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。
と。 復習は必ず行うこと。また、宿題を課す。 レポート課題:国際発達ケア研究の計画 評価項目 (1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれて以上を満たすことで合格とする ・それぞれて以上を活たすことで合格とする ・長低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1 つのとき、最終評価はCとする、など れのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路 書房、2016年		
復習は必ず行うこと。また、宿題を課す。 レポート課題:国際発達ケア研究の計画 評価項目 (1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展別と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれて以上を満たすことで合格とする ・現低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など		
成績評価方法 レポート課題:国際発達ケア研究の計画 評価項目 (1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれの以上を満たすことで合格とする ・提低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等		
評価項目 (1) 問題の設定 A~A+: 背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B: 背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C: 背景と設定が説明されている D: 背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+: 論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B: 論旨の展開が明確である C: 論旨は理解できるレベルにある D: 論旨が不明確である (3) 結論の導き方 A~A+: 独創性が見られ、結論には説得力がある B: 明確な結論を導いている C: 論旨の展開と結論の間に矛盾はない D: 結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など		
(1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である C:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする・それぞれC以上を満たすことで合格とする・それぞれC以上を満たすことで合格とする・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 Iいのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年	成績評価方法	レポート課題:国際発達ケア研究の計画
(1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である C:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする・それぞれC以上を満たすことで合格とする・それぞれC以上を満たすことで合格とする・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 Iいのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
(1)問題の設定 A~A+:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする・それぞれに以上を満たすことで合格とする・それぞれに以上を満たすことで合格とする・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		評価項目
A~A:背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である C:論旨は理解できるしている C:論旨は理解できるしている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする・それぞれに以上を満たすことで合格とする・それぞれに以上を満たすことで合格とする・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
ビューに基づいて明確にされている B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれて以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
B:背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする・それぞれC以上を満たすことで合格とする・それぞれC以上を満たすことで合格とする・それぞれC以上を満たすことで合格とする・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
なされている C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
C:背景と設定が説明されている D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
D:背景、設定のいずれかが説明されていない (2)論旨の展開 A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれに以上を満たすことで合格とする ・それぞれに以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
(2)論旨の展開 A~A+:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれに以上を満たすことで合格とする ・それぞれに以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		C:背景と設定が説明されている
A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1 つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路 書房、2016年		D:背景、設定のいずれかが説明されていない
A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1 つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路 書房、2016年		
A~A+:論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1 つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路 書房、2016年		(2) 論旨の展開
B:論旨の展開が明確である C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
C:論旨は理解できるレベルにある D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
D:論旨が不明確である (3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
(3)結論の導き方 A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1 つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路 書房、2016年		D:論旨が不明確である
A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1 つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路 書房、2016年		
A~A+:独創性が見られ、結論には説得力がある B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1 つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路 書房、2016年		(3)結論の導き方
B:明確な結論を導いている C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
C:論旨の展開と結論の間に矛盾はない D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
D:結論は唐突である ・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		D:結論は唐突である
・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		
・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		·Aのうち特に優れたものをA+とする
・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年		・それぞれC以上を満たすことで合格とする
つのとき、最終評価はCとする、など 教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路 書房、2016年		
教材・参考文献・配布資料等 いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路 書房、2016年		
書房、2016年		ノいこと、奴代計1世はしてりる、なこ
書房、2016年	数材, 参考文献, 配布咨判室	いのちの輝きに客り送うエンパワメント科学 宍塩亜江 北王牧
	教物 多名人脉 配加其种子	
てい他(フの仏/立寺サーのブシューリ	
		技耒中の店発は参加を期待する。
受講上の注意点等)	受講上の注意点等)	